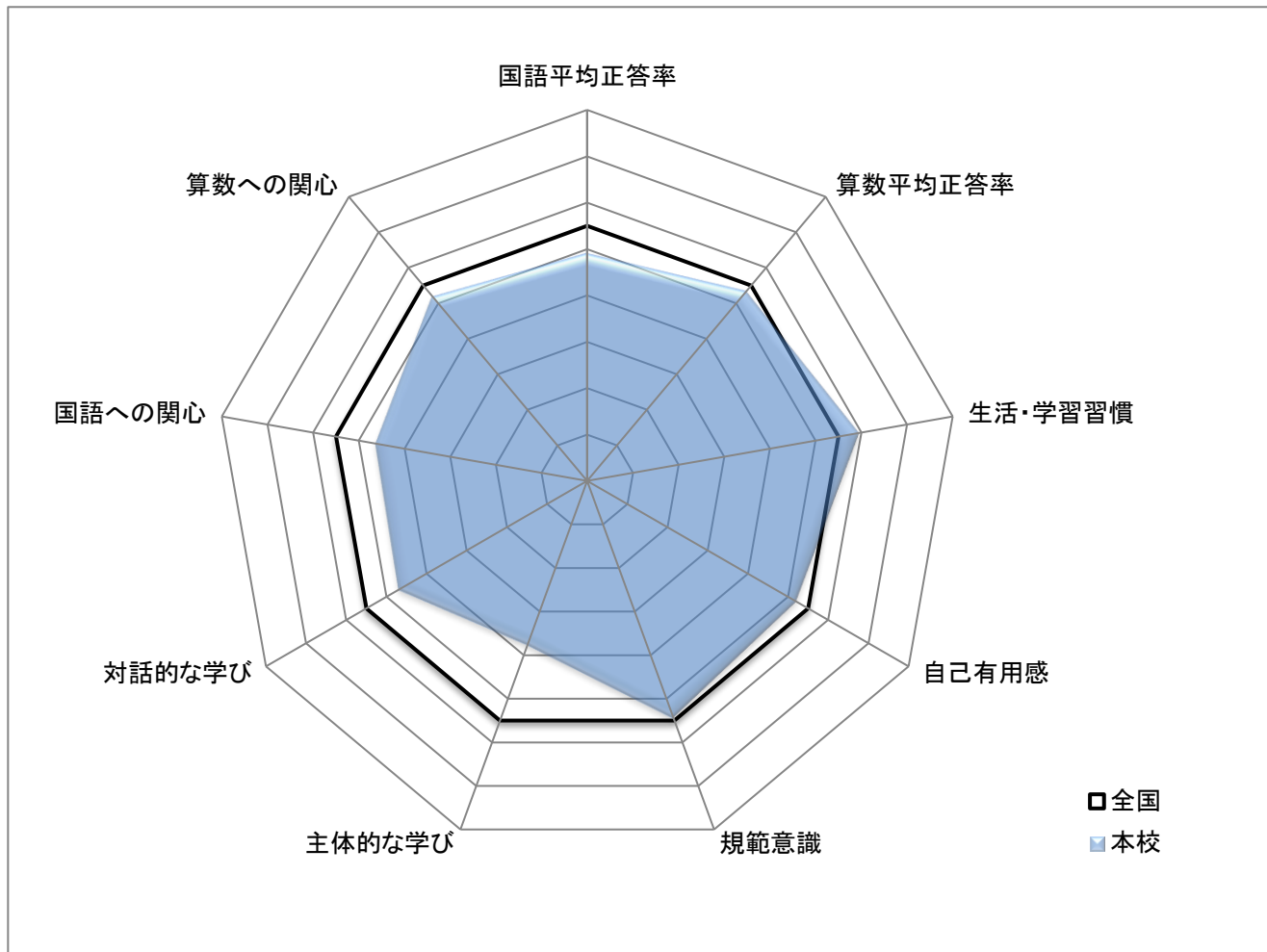


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語の平均正答率は、全国平均より7.7%下回り、国語への関心に関する項目では、全国平均より13.6%下回った。
- ・算数の平均正答率は、全国平均より2.2%下回り、算数への関心に関する項目では、全国平均より5.4%下回った。算数の学習について、大切であると肯定的な回答をした児童の割合は、97.1%であった。
- ・規範意識では、「いじめはどんな理由があってもいけない」の項目について肯定的な回答が98.5%で、全国平均と比べて1.7%上回った。

《授業改善のポイント》

- 「習得を意識した授業改善」
 - ・学習のめあてと振り返りをセットで実施
 - ・問題演習の時間の確保
- 「考え・議論する授業」
 - ・話型の活用
 - ・ハンドサインの活用
- 「ICTの効果的な活用」
 - ・予習、復習で活用
 - ・家庭学習で活用
 - ・理解を広げるツールとして活用

《チャートの特徴》

- ・国語平均正答率 【本校】57% 【全国】64%
- ・算数平均正答率 【本校】68% 【全国】70%
- ・算数への関心について、「算数の勉強は好きですか」の問いに対して、肯定的な回答が70%ある（全国平均67.8%）。しかし、「問題の解き方が分からない時にあきらめずにいろいろな方法を考える」の項目では、肯定的な回答が65.6%で、全国平均と比べて17.1%下回っている。
- ・「対話的な学び」に関する項目は、62.0%で、全国平均を12.2%下回っている。
- ・「主体的な学び」に関する項目は、48.7%で、全国平均を26.2%下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- 家庭学習習慣の確立
 - ・毎日の宿題、ICTを活用した課題
- 言語活動の充実
 - ・読書週間や音読の習慣付け
- 生活習慣を振り返る取り組みの実施